

令和7年度 事業報告書

令和7年度は、第三次いわライジングプランの初年度として、運営大綱に掲げる三本の柱のもと、各種事業に計画的に取り組みました。法令改正や社会環境の変化、フリーランス新法施行後の就業環境への対応など、センターを取り巻く環境は依然厳しい状況にありましたが、会員及び事務局職員が一丸となって円滑かつ的確な事業運営に努め、概ね計画どおり事業を推進することができました。

会員の就業環境の整備、就業機会の確保・拡大、安全就業の推進、地域貢献活動の充実など、センターの公益目的に沿った取組を着実に進めるとともに、組織運営における効率化とガバナンスの強化にも取り組みました。

1 事業実績

年度／項目	登録会員数（人）		対前年比（人）	区民人口（人）		対区民人口比
令和7年度 (8年3月末)	総 数 (目標値)	2,615 (2,800)	26 ▼	60～90 歳	145,113	1.802 %
	65～79 歳 (目標値)	1,858 (2,000)	13 ▼	65～79 歳	76,632	2.424 %
令和6年度 (7年3月末)	総 数	2,641	7 ▼	60～90 歳	143,469	1.841 %
	65～79 歳	1,871	43 ▼	65～79 歳	76,690	2.440 %

センターの活動基盤を担う登録会員は、前年実績比に対し約1%の減少となりました。入会申込は引き続き1日2回・月2日間の集会型入会説明会と随時受付のWEBによる入会申込を併用して実施し、今年度から申込翌週の入会承認を実現することで、入会後速やかに活動を開始できる仕組みを構築しました。

しかしながら、退会する方も依然として多く、会員専用WEBサイト（Smile to Smile、以下「スマスマ」という。）登録による会費減額などの退会抑止策を講じたものの、目標とする会員数の実現には至りませんでした。また、就業の中心世代と言われている65歳～79歳の登録会員は、減少幅は縮小したものの、前年度比13名の減少となり、センターの登録会員における高齢化が進行している状況にあります。

WEBによる入会申込受付の定着により入会申込みが増加傾向にあることから、今後、デジタル社会に対応できる会員層の拡大が期待されます。

表1－会員入退会状況（単位：人）

区分／月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年計
入会	男	23	11	9	18	9	8	37	7	11	13	7	30	183
	女	7	10	8	10	6	6	29	15	14	5	7	31	148
	計	30	21	17	28	15	14	66	22	25	18	14	61	331
退会	男	37	100	10	1	3	4	0	7	3	13	11	17	206
	女	29	73	10	5	2	1	0	3	0	9	5	14	151
	計	66	173	20	6	5	5	0	10	3	22	16	31	357
差引増減		-36	-152	-3	22	10	9	66	12	22	-4	-2	30	-26
前年度	入会	30	26	20	29	19	10	53	31	16	23	23	54	334
	退会	66	158	24	14	9	5	3	2	16	10	17	17	341
	増減	-36	-132	-4	15	10	5	50	29	0	13	6	37	-7

退会理由の主なものは、表2のとおり、病気・加齢など高齢者特有のものと、定款に規定する会員の資格喪失理由となる1年以上会費を滞納していることによるもので、これらの理由によるものが令和7年度中の退会者数の61.6%を占めています。センターの事業運営に関わる「希望する仕事がない」「就業機会なし」による退会は28名で、昨年度より5名増加しました。入会から早い段階で就業できるような更なる機会の創出や会員に対するヒアリングの強化に努め、会員の就業意欲の維持・向上を図り、退会者の抑制に繋げてまいります。

表2-退会理由 (単位:人)

理由	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病 気	16	10	2	1	2	1	0	3	1	2	3	8	49
シルバー事業を通じて就職	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他で就職	6	7	2	1	0	0	0	0	0	2	1	1	20
死 亡	5	3	4	0	1	1	0	2	0	6	5	2	29
転 居	5	4	1	1	1	2	0	3	2	7	1	3	30
希望する仕事がない	6	1	3	0	1	0	0	1	0	2	1	4	19
就業機会なし	5	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	9
家庭の事情(介護等)	3	1	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	9
会費未納	0	134	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134
加 齢	8	11	4	1	0	0	0	0	0	1	4	8	37
他団体への加入	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
センター運営に対する不満	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
未 回 答	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
そ の 他	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	9
合 計	66	173	20	6	5	5	0	10	3	22	16	31	357

(1) 受託事業

表3のとおり、請負・委任により受託事業は、約6割が杉並区から委託された仕事ですが、前年比で5.6%プラスとなった反面、企業・家庭が伸び悩み、それぞれ1.1%、3.5%のマイナスとなり、既存職種の受注拡大が課題となりました。トータルの事業収入は、前年度決算よりも約2,290万円の増収となりました。

表3-請負・委任事業区分別・公民別事業収入等 (単位:円/件/人)

事業区分		配分金	材料費等	事務費	事業収入	実契約件数	延日人員
公共	7年度	501,325,369	1,305,279	59,996,950	562,627,598	141	90,038
	6年度	476,647,581	1,288,838	54,884,346	532,820,765	131	92,175
企業	7年度	175,295,075	163,571	27,359,843	202,818,489	615	56,469
	6年度	177,973,185	247,165	27,765,665	205,986,015	601	57,767
家庭	7年度	110,717,555	4,731,264	17,101,252	132,550,071	4,506	31,124
	6年度	114,485,709	4,989,347	17,878,098	137,353,154	4,633	33,032
独自	7年度	11,539,887	117,694	1,556,354	13,213,935	25	3,381
	6年度	10,448,622	197,341	1,500,237	12,146,200	26	3,248
合計	7年度	798,877,886	6,317,808	106,014,399	911,210,093	5,287	181,012
	6年度	779,555,097	6,722,691	102,028,346	888,306,134	5,391	186,222

表4のとおり、令和7年度の実績は職群別で管理群の伸長が見られたものの、全体としてはおおむね横ばいで推移しました。

表 4－請負・委任事業職群別事業実績表 （単位：件／人／円）

職群・事業区分			受注 件数	職 群 別 登録会員数	就業延人員	配 分 金	材料費等	事 務 費	金額計
令和 7 年度	職 群 別 内 訳	技 術	207	211	919	3,334,117	115,996	1,129,517	4,579,630
		技 能	1,613	209	6,254	42,364,171	4,190,884	5,595,869	52,150,924
		事務整理	136	260	1,603	8,772,964	3,402	1,179,176	9,955,542
		管 理	37	624	49,674	326,575,372	1,248,000	39,815,422	367,638,794
		折衝外交	13	50	163	1,140,366	610,820	176,290	1,927,476
		軽 作 業	2,791	678	67,365	198,877,999	120,276	30,735,398	229,733,673
		サービス	479	581	54,734	217,079,674	0	27,246,650	244,326,324
		そ の 他	11	2	300	733,223	28,430	136,077	897,730
		計	5,287	2,615	181,012	798,877,886	6,317,808	106,014,399	911,210,093
令和 6 年度	職 群 別 内 訳	技 術	229	245	1,030	3,635,574	193,286	1,085,513	4,914,373
		技 能	1,766	214	6,338	44,374,346	4,591,322	6,107,656	55,073,324
		事務整理	119	262	1,542	8,367,104	2,664	1,118,665	9,488,433
		管 理	31	637	51,546	308,336,805	1,178,100	37,024,283	346,539,188
		折衝外交	12	56	185	1,057,091	570,870	160,271	1,788,232
		軽 作 業	2,740	653	68,875	201,826,304	176,561	31,371,617	233,374,482
		サービス	486	572	56,642	211,745,461	4,488	25,127,901	236,877,850
		そ の 他	8	2	64	212,412	5,400	32,440	250,252
		計	5,391	2,641	186,222	779,555,097	6,722,691	102,028,346	888,306,134

表 5 の労働者派遣事業についても、平成 30 年の事業開始以降、受注件数・金額ともに大幅に伸びており、今後もセンターの主力事業として、引き続き営業の取組を強化していきます。

表 5－労働者派遣事業契約額等 （単位：円／件／人）

	賃 金	事務手数料等		契約金額	実契約件数	延日人員
		杉並区SC	東京しごと財団			
令和 7 年度	53,088,773	8,046,911	7,815,636	68,951,320	180	11,220
令和 6 年度	48,635,384	7,291,390	7,130,278	63,057,052	169	10,611

（2）就業機会提供事業

表 6 のとおり、会員の高齢化に比例し、就業する会員の平均年齢も高齢化しており、民間等における就業年数の延長による新規入会者の年齢も高齢化していることから、当面は、高齢化の傾向が続くものと予測されます。このことを受け、高齢の会員でも就業可能な職域の創出に引き続き取り組みます。

また、登録会員数は微減となりましたが、就業者数は前年より 3 名増加したため、対全会員の就業率は 70.7%と 0.8 ポイント増加しました。

表 7 は登録会員が第一希望の職種で就業できているかを示しており、約 36%の会員が第一希望の職種に就業しています。

表 6－年齢別会員登録・就業状況（単位：人／歳）

区分		60 歳未満	60～ 64 歳	65～ 69 歳	70～ 74 歳	75～ 79 歳	80 歳以上	合計	平均 年齢	最高 年齢
登録会員	男	1	35	198	341	536	409	1,520	76.5	94
	女	0	44	163	270	349	268	1,094	75.8	96
	計	1	79	362	611	885	677	2,615	76.2	96
	前年	3	93	356	669	846	674	2,641	75.9	98
就業会員	男	0	16	122	240	379	287	1,044	76.8	93
	女	0	24	101	200	245	170	740	76.2	96
	計	0	40	223	440	624	457	1,784	76.6	96
	前年	1	44	211	482	599	441	1,778	76.5	95

就業率	年度/対比	就業会員数	対全登録会員	
			登録会員数	就業率
	令和7年度	1,850人	2,615人	70.7%
	令和6年度	1,847人	2,641人	69.9%

表 7－会員第一希望職群就業状況（単位：人）

区分		技術	技能	事務整理	管理	折衝外交	軽作業	サービス	その他	合計
登録会員	男	141	84	92	528	22	399	253	1	1,520
	女	70	125	168	96	28	278	328	1	1,094
	計	211	209	260	624	50	678	581	2	2,615
	前年	245	214	262	637	56	653	572	2	2,641
就業会員	男	13	18	0	200	1	184	132	0	548
	女	10	66	12	28	0	127	155	0	398
	計	23	84	12	228	1	311	287	0	946
	前年	26	89	11	254	1	309	292	0	982

※ 表 6・表 7 の「登録会員」は令和 8 年 3 月 31 日現在の会員数、「就業会員」は令和 7 年度中に一度でも就業した会員数

① 就業の質の向上

- ア) 安全・適正な就業履行のため、コンプライアンスの徹底を図りました。また、年間を通じてQRコードによる「お客様満足度アンケート調査」を実施し、発注者の意見・要望等を事業運営に反映させ、課題の改善に取り組みました。
- イ) 安全・適正な就業提供の実現に向け、理事会の下、就業委員会と安全管理委員会が連携し、総合的に取り組みました。熱中症対策の新しいルールのもと、夏季就業時の熱中症予防対策として、就業の有無に関わらず全会員に対し温湿度計を、また屋外で就業する会員の夏季の日中における良好な就業環境を整えるため、アイスバスト等を配付しました。
- ウ) グループ就業現場において、会員のシフト調整や新規就業会員の育成指導など、リーダー的役割を担う会員に対し、通常就業以外の業務の就業について追加配分金を支払い、会員の就業意欲の向上を図りました。
- エ) 各業務における配分金時間単価の設定に関し、東京都最低賃金及び区の公契約条例最低賃金を反映しました。また、フリーランス新法の施行に伴う就業条件明示を適切に実施しました。

② 就業率向上の取組

- ア) 新入会員に対し、希望職種の担当者がおおむね1週間以内にファーストコンタクトをとり、迅速な就業情報の提供を心掛けました。また、就業会員が不足している職種や新規に募集する仕事について、全会員向けに毎月発行している「就業のひろば」に募集情報を掲載するとともに、会員専用WEBサイト（Smile to Smile、以下「スマスマ」という。）を活用し、こちらも迅速な就業提供を実現し、円滑な就業につなげました。
- イ) 3名以上が就業する職種を「継続グループ」として情報公開し公平性を担保するとともに、共働共助の理念のもと分ち合い就業を推進し、就業未経験や就業経験の浅い会員の就業を優先する仕組みを構築しました。

③ 職種別就業説明会の拡充

自主的・主体的な組織理念のもと、就業委員会が主体となり就業会員自身がガイド役となる「おしごと見学会」「おしごと体験会」を以下の日程・職種で実施しました。会員のほか、一般区民に対しても公募し、就業会員が不足している職種に多くの会員・区民が参加し、新規就業につなげることができました。

日 時	種別	職種	会 場	参加者	就業者
令和7年11月5日	見学会	通学案内交通指導	高井戸東小学校	3人	1人
令和7年11月12日	見学会	通学案内交通指導	三谷小学校	3人	1人
令和7年11月26日	見学会	通学案内交通指導	杉並第九小学校	3人	2人
令和8年2月9日	見学会	通学案内交通指導	荻窪小学校	5人	2人
令和8年1月22日	体験会	マンション清掃	下高井戸2丁目	3人	1人
令和8年3月11日	体験会	植木剪定・枝切整理	清水分室	15人	1人

④ 就業コーディネーターの起用

- ア) マンション共用部清掃コーディネーターを通年で1名雇用し、受注の拡大、就業会員のマッチングに適宜対応し、旺盛な需要に応えました。
- イ) 家事援助コーディネーターを通年で2名雇用し、子育て世帯や単身を含む高齢者世帯の需要に迅速かつ円滑な対応に努めました。また、杉並子育て応援券サービス提供事業所として、家事援助やお子様の見守り・送迎といったサービスを提供し、以下のとおり子育て世帯のニーズに的確に応えました。

子育て応援券利用実績		令和7年度	令和6年度	前年度比増減
契 約 件 数		397 件	422 件	25 件 ▼
就 業 人 員		437 人	453 人	16 人 ▼
事業収入	金額	2,872,790 円	2,970,470 円	97,680 円 ▼

⑤ 就業環境の整備改善

- ア) 臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務というセンター特有の仕事の形態による働き方や健康管理の面から、月100時間を超えない就業を目安とし、会員相互の安全確認を含めた複数会員による分ち合い就業を推奨するとともに、疲労蓄積時間も考慮した調整・指導等に努めました。
- イ) 同一職種の就業会員同士の情報共有及び意見交換の機会として「就業連絡会」を適宜開催し、当該職種における問題点や課題等を会員間で認識するとともに、適正かつ安全な就業体制の構築に取り組みました。

⑥ 独自事業への取り組み

会員作品を扱う「ショップ銀の手」は80代、90代の会員による出品も多く、今年度も生きがい就業の場として有効に機能しました。また、会員自らが運営を行なう「会員企画提案事業」は、新たな教室として「養生トレーニング」が始動し、今年度の選定会議にて次年度から「アクセサリ教室」の開催が決定するなど、自主的・主体的な事業形態を具現化しました。

(3) 労働者派遣事業

就業開拓員1名を通年で雇用し、区内事業所に対する労働者派遣事業を含めたセンター事業の営業活動を実施し、派遣事業に係る業務の受注・実績については順調に推移しています。また、派遣就業会員数が50名を超えているため、法の規定に基づく衛生管理者を雇用し、安全衛生委員会を月1回開催しました。

(4) 調査・研究事業

各就業現場における発注者の満足度を調査し、センター事業の改善・充実を図るため、設問内容や評価方法を変更した上で、表8のとおり「お客様満足度アンケート調査」を実施しました。

杉並区から受注する仕事に対する満足度等を測る指標は、お客様である杉並区の業務担当主管課が実施する杉並区履行評価基準に基づく履行評価であることから、表9のとおり履行評価表により得られた点数を満足度としました。

表8ー お客様満足度アンケート調査

職種名	受注件数	回答数	「大変よい」「よい」の数			コメント		平均評価点
			問4	問6	問7	加点	減点	
マンション共有部清掃	520	104	100	100	99	16	1	89.5
植木剪定	1,108	124	120	122	120	12	5	96.0
除草	1,633	12	12	12	12	7	0	97.7
家事援助サービス	419	21	21	20	19	2	3	90.9

※ 設問毎に、大変よい＝4点、よい＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点の計を44点で除し、100を乗じた数を基礎評価点としました。

また、10項目の評価の内、問4.契約から実施までの期間、問6.会員の態度や言葉づかい、問7.仕事ぶり・仕上がりの3項目については、センターの事業運営への影響度が高いため、2倍評価（良い＝8点）とし、自由意見欄の良いコメント・悪いコメントにより2点を加減しました。

表9ー 履行評価表評価

主な履行評価対象業務	評価主管課	利用対象者	評価点	
有料自転車駐車場管理業務	土木管理課	一般区民	79	普通
通学案内交通指導等業務	学務課	通学児童・小学校40校	95	優良
ゆうゆう和泉館運営管理業務	高齢者施策課	一般区民	91	良好
環境美化巡回指導等業務	環境課	一般区民	92	良好
広報スタンド運営	広報課	一般区民	87	良好
広報すぎなみ等の配達	広報課	一般区民	96	優良

※ 区の履行評価は、95点以上＝「優良」、80～94点＝「良好」、60～79点＝「普通」となっており、60点に満たない場合は「やや不良」として、次回の契約締結に際し支障をきたすことになります。なお、点数の算出方法については、各業務別の評価項目ごとに、良好＝4、概ね良好＝3、やや不備＝2、不備＝0として積算した数値を、項目数×4で除した数値が標準評価点となり、加点・減点される別の評価項目の加減により総合評価点が算出されます。従って標準評価が100点未満であっても、加点評価が加わると100点を超える評価を得ることもあります。

(5) 相談事業

各事務局窓口において随時就業相談を行い、就業上のトラブルや未就業会員の就業紹介など、会員から寄せられる各種相談に迅速かつ適切に対応することにより、会員支援の充実と課題の早期解決を図りました。

(6) 研修・講習事業

東京都シルバー人材センター連合事務局の東京しごと財団（以下「連合」という。）が主催する会員の技能支援講習会及び当センター独自に新規就業会員育成のための研修会を適宜開催し、新たな技能習得を志す会員の参加を支援しました。

また、第3ブロックの他区シルバー人材センターと連携し、役員や事務局職員向けの研修・講習等を実施して、役員及び職員の研鑽を図り、資質の向上に努めました。

実施主体	研修・講習会名	開催日	期間	受講者数
連 合	植木の基礎（除草と刈込み）	5/9～23	9 日間	2
	包丁研ぎ	5/20	1 日間	1
	植木の剪定技術アップ	5/26	1 日間	1
	ハウスクリーニングⅡ	5/27、28	2 日間	1
	植木の基本と応用（剪定）	5/29～6/20	14 日間	1
	ステップアップ接遇Ⅰ（施設管理等・利用者対応）	5/29	1 日間	1
	ハウスクリーニングⅠ	6/13	1 日間	1
	毛筆筆耕（宛名書き）	6/19～7/3	7 日間	2
	パソコンインストラクター養成	7/8～7/11	4 日間	1
	ステップアップ接遇Ⅱ	7/22	1 日間	1
	ハウスクリーニングⅡ	9/4、5	2 日間	1
	植木の基本と応用（剪定）	9/25～10/17	10 日間	1
	毛筆筆耕（賞状書き）	11/6～28	12 日間	3
	ハウスクリーニングⅢ	11/18、19	2 日間	3
	包丁研ぎ	12/8	1 日間	2
	ホームネットワーク接続サービス	2/24、25、26	3 日間	2
	接遇マナー・良い印象を身につけるセミナー	8/18、19		34
第3 ブロック	理事研修（食と健康）	2/9		9
	職員研修（デジタル化の意識啓発・課題発見）	2/20		3
当センター	就業前研修（接遇、個人情報の取扱いほか）	新規就業前必須		就業会員
	植木剪定ステップアップ研修	5、6 月		22
	ハラスメント防止研修（役職員向け）	11/18、19		44
	スマホ講習会（12 回）	4～3 月		44
	スマホ相談会（12 回）	4～3 月		59
	Smile to Smile 相談会（15 回）	4～3 月		67

(7) 普及啓発事業

① 機関広報紙「シルバーすぎなみ」の発行

全会員に対しセンター事業の運営状況等をお知らせする機関広報誌「シルバーすぎなみ」は、広報委員会の企画編集により、年3回（4・10・1月）発行し、事務局から直接会員宅へ郵送しました。

② 「みに News」と「就業のひろば」の発行

センター会員の就業や活動において重要な情報を掲載する「みに News」と就業会員を募集している仕事の情報を掲載する「就業のひろば」を事務局で発行し、スマスマおよび郵送にて毎月10日頃に全会員へ情報提供しました。また、スマスマ登録者の増加により、通信運搬費（郵送料）の削減を実現しました。

③ ホームページの更新

未入会者に対し興味を惹きつけられるよう、また会員にとっても魅力的なツールを提供できるようホームページの拡充と更新を随時行い、視認性の向上に努めました。

④ 杉並区の広報紙「広報すぎなみ」の活用

当センターが主催する各種教室・講座の開催に関する情報や入会申込みに関する情報等、広報すぎなみの紙面及び杉並区公式ホームページ上に記事の掲載を依頼し、センター事業の周知を図りました。広報すぎなみの紙面は高い周知効果が確認されたため、掲載頻度の拡充を要請しました。

⑤ 入会説明会の開催

昨年度に引き続き、本部7階702会議室において、午前午後の1日2回で月2日から3日間を基本として集会型説明会を実施しました。また、WEB入会申込者については随時入会申し込みが行える体制を構築しました。

表 10－入会説明会実施状況（単位：人）

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開催回	5	2	3	3	4	2	4	4	3	3	3	4	40
説明会経由 入会者	19	17	11	23	11	3	42	13	13	7	6	42	207
Web入会者	11	4	6	5	4	11	24	9	12	11	8	19	124
入会者合計	30	21	17	28	15	14	66	22	25	18	14	61	331

⑥ 地域のイベント等への積極的な参加協力

地域区民センターまつり等地域におけるイベント等に出展し、センター活動を広くPRしました。

出展等協力事業名	開催日	協力内容	備考
井草センターまつり	令和7年9月7日	折り紙教室	参加者215人
堀ノ内斎場地域感謝の集い	令和7年10月4日	会員作品販売	作品販売21点

⑦ デジタル媒体への広告掲載

リスティング広告、LINE 広告等のデジタル媒体を活用し、シルバー人材センターの認知度向上および入会促進を図りました。

(8) 社会参加等支援事業

定時総会終了後に同会場で全体地区委員会を開催し、令和6年度の各地区での活動実績を発表しました。また、新たに選任された地区委員の委嘱式と令和7年度における地域活動方針を周知しました。

① シルバー孫の手事業

当事業は、全国的にも注目されているボランティア事業であるため、高齢者在宅サービスのおたっしや訪問利用家庭にPRチラシを配布するなど、事業の周知・拡充に努めました。その結果、受付件数及び実施件数は昨年度を上回る成果を上げ、地域活動の中核を担う事業として定着しつつあります。

なお、登録会員の活動意欲の向上を図るため、昨年度に引き続き、活動5回毎に記念品を贈呈しました。

年 度	受付件数	不調件数	実施件数	活動人員
令和7年度	92	11	77	57
令和6年度	76	7	72	57

② 会員ポイント制度の確立

地域活動委員会を中心に運用を検討し、次年度の本格運用に向け準備が整いました。

③ 地区イベントの企画・立案

各地区の理事・地区委員がアイデアを出し合い、地域特性を生かした地区イベントを企画・実施しました。結果、シルバー人材センターの活動を広くPRすることができました。

地区名	実施日	内 容	参加者	
			(会員)	(非会員)
高 円 寺	1/23	自転車交通ルール	38	5
高円寺阿佐谷 共催	2/24	シルバー寄席	33	6
和 田 堀	10/20	荻窪三庭園巡り	14	4
	2/16	妙法寺見学	18	2
和泉下高	11/17	荻窪三庭園めぐり	22	7
	3/9	池袋防災館体験ツアー	19	2
阿 佐 谷	4月～3月（年9回）	小学生見守りボランティア	127	0
	10/14	馬橋稻荷神社禰宜さん講話	34	3
荻 窪	5/29	荻窪三庭園巡り	31	3
	11/19	ストップ特殊詐欺	23	3
井 荻	10/28	特殊詐欺防止	19	2
	1/27	善福寺公園野鳥観察会	9	1
高 井 戸	5/7	アンネのバラ鑑賞	6	11
	7/11	特殊詐欺防止	33	11
	3/12	自転車交通ルール	33	4
合 計			459	64

(9) 安全就業推進事業

① 安全就業の強化

安全管理委員による就業現場の安全点検確認を適宜行いました。いずれの就業現場も概ね安全就業に取り組まれていましたが、会員手帳の不携行が散見されました。再度、緊急連絡先の記載を含めた会員手帳携行を指導し、安全啓発に努めました。

職 種	安全管理委員現場点検	
	実施箇所数	点検者数
植木剪定	5 所	5 名
有料制自転車駐車場	3 所	3 名
通学案内交通指導	6 所	12 名
除草	3 所	6 名
マンション共用部清掃	6 所	12 名
学校施設管理	2 所	2 名

② 就業における熱中症対策の新たなルール策定

労働安全衛生規則の一部改正にともない、「安全はすべてに優先する」理念のセンターにおいても本改正に準じた熱中症対策の新たなルールを策定しました。また、今年度全会員に配付した温湿度計の携行と有効活用もあわせて啓発しました。

※ 気温・室温が31度以上の環境下では ※ または、暑さ指数（WBGT）が28以上の環境下では		
1	必須	同環境下での就業時間を「上限5時間/日」とする。
2		同環境下での就業中、1時間に1回は、小休憩をとる。
3		同環境下での就業時間を「上限80時間/月」とする。
4	推奨	同環境下での連続就業は2日、8時間以内とする。

③ 事故分析及び周知等による再発防止の徹底

傷害事故、賠償事故いずれも増加となりましたが、相変わらず転倒によるケガや自転車によるケガが多く、日常的な体力づくりに関する広報や就業前の準備運動の励行など、再発防止に向けた注意喚起を行うとともに、「みにNews」で全会員に事故内容、原因等を周知し再発防止に努めました。

また、就業先での不注意による他人の財物の損壊事故が多いため、当該職種の就業連絡会等を活用して事故事例を共有し、作業前点検・周辺の安全確認を怠ることのないよう注意喚起しました。

年度／事故区分	傷 害（保険適用）			賠 償		
	就業中	就業途上	傷害計	保険適用	保険適用外	賠償計
令和7年度	16	13	29	7	7	14
令和6年度	15	10	25	12	1	13
前年度比	1	3	4	▲ 5	6	1

※ 賠償事故については、本年度より保険商品の免責額が1事故10,000円となったため、賠償額10,000円以下の事故は保険適用外となります。保険の適用・適用外にかかわらず、免責額の20%相当額（上限2,000円）は会員が負担し、残りをセンター負担とし、保険適用の際は保険金額とあわせて被害者へ支払います。

④ 安全就業啓発のための研修・講習会等の開催

会員が就業中や就業途上においてケガをする要因の多くは、体力の低下による転倒が多いことは4M分析からも判明しているため、会員を対象として「安全就業講習会」を主催し、転倒予防のためのトレーニング、また次いで多い自転車事故防止のために杉並警察署、荻窪警察署を招いて自転車安全講習を行いました。また、今年度は順天堂大学との共催で高齢者の大きな関心事である「フレイル検診」を12月に清水分室にて実施し、会員からも好評を得ました。連合や第3ブロックが開催する安全就業に関する会議や講習会等へは安全管理委員が参加し、就業連絡会等で会員への伝播に努めました。

講習会名等	開催日	対 象	参加人数
安全リーダー研修	7/11	安全管理委員	1名
第一回転倒予防講習	8/27		1名
財団安全パトロール巡回指導	9/5		1名
安全大会	9/26		2名
第3ブロック安全研修	9/29		3名
第二回転倒予防講習	2/12		1名
第三回転倒予防講習	3/7		1名
（シルバー主催）安全就業講習会①	2/27	一般会員	13名
（シルバー主催）安全就業講習会②	3/13		13名
（順天堂大学共催）フレイル検診	12/4	一般会員・一般区民 （カッコ内は一般区民）	28名(7名)
	12/5		26名(3名)

(10) センター運営

① 総会

令和 6 年度の事業報告及び収支決算の承認を受けるための第 15 回定時総会をセシオン杉並で開催しました。

開催日現在の登録会員数である総議決権数 2,435 名に対し、当日出席者 79 名、委任状 1,408 名、議決権行使書 294 名の計 1,781 名の出席があり、定足数に達した中、定款の一部改正、既定の一部変更、決算の承認及び役員の選任について異議無く承認されました。

② 理事会

ア) 業務執行状況の確認、事業の円滑な運営に必要な諸事項の決定を行うため、本部 7 階 702 会議室を基本として定例理事会を毎月行いました。

イ) 事業運営に係る諸事項の検討等について、理事会の付属機関として、安全管理委員会、就業委員会、広報委員会、地域活動委員会の 4 つの常任委員会を設置し、各担当事業における施策の起案および課題の解決に当たりました。

ウ) 今年度からハラスメント対策委員会を設置し、ハラスメントの未然防止および発生時の適切な対応を図るなど、組織的な対応を推進しました。

エ) シルバーの事業を円滑かつ適正に運営するために必要な重要事項を、三役（会長・副会長・常務理事）及び事務局長代理による三役会議にて検討、情報共有しました。

③ 監査

監事 2 名により決算監査の他、中間監査及び清水分室と現金を取り扱う有料自転車駐車場（5 カ所）、ゆうゆう和泉館の業務監査を実施しました。

④ 地区委員

区内を 7 地区に分け、地区に所属する地域班を町名別に設置し、地域活動の推進者として当該地区地域班の登録会員約 30 名につき 1 名を目安に地区委員を委嘱しました。地区委員は、地区委員会議を適宜開催して地区オリジナルのイベント等の企画・運営に積極的に取り組むなど活発に活動を展開しました。

⑤ 事務局

ア) 理事会の下、会員の安全適正就業や地域貢献活動を支援するとともに、連合事務局の東京しごと財団や他区のセンターと連携し情報交換をしながら、円滑かつ効率的なセンター運営に努めました。

イ) 前年度に引き続き、本年度も迅速かつ効率的な事務処理ができるようデジタルトランスフォーメーションを強化・推進しました。会員に対してはスマスマの登録推奨、発注者に対しては電子契約の推奨、職員間では社内イントラの整備によりそれぞれ事務効率の向上を図りました。

ウ) 職員の事務処理能力の向上を図るために、自己分析を基にしたヒアリングを実施し、働きやすくモチベーションが向上する事務局となるよう組織改編を行いました。

エ) 次年度より開始する三者包括契約（新方式）について、会員に不安を与えることなく職員全員が制度の理解に努め、移行手続きをスムーズに行うことができました。

2 諸会議の内容

(1) 総 会（定款第 14 条に基づき開催）

会議の名称・日時・会場	議 案 等
第 15 回定時総会 令和 7 年 6 月 25 日（水） 午後 1 時 30 分開会 セシオン杉並ホール	報 告 令和 6 年度事業報告 議案 1 令和 6 年度決算書類の承認の件 議案 2 定款一部変更の件 議案 3 役員の報酬等及び費用に関する規程の一部変更の件 議案 4 理事 15 名選任の件

(2) 理 事 会（定款第 31 条に基づき設置し、第 32 条の職務を執行）

会議の名称・日時・会場	議 題
4 月度定例（第 184 回） 令和 7 年 4 月 22 日（火） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 3 月分） 2. 令和 7 年 4 月度入会申込者の入会承認 3. 事故発生状況速報 4. 第 15 回定時総会の開催について 1) 開催日程等について 2) 目的事項について（報告事項・決議事項） 3) 議決権行使及び招集方法について 5. 令和 6 年度事業報告書（案）について 6. 監事の再任にかかる取扱いについて 7. 現金及び貯蔵品の監査報告について 8. 常任委員会報告 1) 第 1 回地域活動委員会（4/16） 9. 就業連絡会等報告 1) 枝切り整理業務（3/24） 2) 学校施設管理・杉十小開放管理事務室運営業務（3/25） 10. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等）
5 月度定例（第 185 回） 令和 7 年 5 月 21 日（水） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 職務執行状況報告 2. 月次事業実績等（令和 7 年 4 月分） 3. 令和 7 年 5 月度入会申込者の入会承認 4. 令和 6 年度予算執行状況報告 5. 令和 6 年度決算監査の報告について 6. 任期付事務局長に関する要綱の一部改正（案）について 7. 4 月分配分金の支払い遅延について 8. 第 15 回定時総会議題について 9. 第 15 回定時総会復代理人の選任について 10. 会員表彰について 11. 退任地区委員の表彰について 12. 第 15 回定時総会役員の役割分担及び進行について 13. 就業における熱中症対策の新たなルールについて 14. 常任委員会活動 1) 安全管理委員会（事故発生状況速報） 安全管理小委員会（4/30） 電動工具の適正使用について（植木職） 2) 広報委員会（5/17） 15. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等）

6 月度定例（第 186 回） 令和 7 年 6 月 17 日（火） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 5 月分） 2. 令和 7 年 6 月度入会申込者の入会承認 3. 事故発生状況速報 4. 地域活動委員の選任 5. 地区委員の退任 6. 地区委員の選任 7. 常任委員会活動 1) 安全管理委員会（6/4） 8. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等） 9. その他
7 月度定例（第 188 回） 令和 7 年 7 月 23 日（水） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 6 月分） 2. 令和 7 年 7 月度入会申込者の入会承認 3. 事故発生状況速報 4. 理事会運営規則の一部改正について 5. 利益相反取引に係る役員の就業について 6. 退任役員の表章について 7. 地区委員の退任について 8. 常任委員会委員の選任について 9. 令和 7 年度就業連絡会について 10. 危機管理情報連絡 11. 常任委員会活動 1) 広報委員会（7/15） 2) 就業委員会（7/16） 12. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等）
8 月度定例（第 189 回） 令和 7 年 8 月 20 日（水） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 7 月分） 2. 令和 7 年 8 月度入会申込者の入会承認報告 3. 事故発生状況速報 4. 理事会運営規則の一部改正について 5. 講師謝礼等支払い基準の改定について 6. 会員ポイントの付与に関する取扱要綱 7. 地区委員の退任について 8. 常任委員会活動 1) 地域活動委員会（7/23） 9. 職場におけるハラスメントの防止に関する規程について 10. 常務理事の互選について 11. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等）
9 月度定例（第 190 回） 令和 7 年 9 月 18 日（木） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 8 月分） 2. 事故発生状況速報 3. 職員就業規則の改定について 4. 育児介護休業等に関する規定の改定について 5. 表章規程の一部改正について 6. 常務理事（非常勤）の報酬について 7. 安全管理委員の選任 8. 会員ポイント制度の運用方針について 9. ハラスメントの防止に関する規程について 10. Tokyo シルバー 50 周年フェス 11. 常任委員会活動 1) 就業委員会（9/12） 12. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等）

10 月度定例（第 191 回） 令和 7 年 10 月 21 日（火） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 9 月分） 2. 令和 7 年度第二四半期収支報告（収支計算書の提出） 3. 事故発生状況速報 4. 監査報告 5. 常任委員会活動報告 1) 広報委員会（9/18） 2) 安全管理委員会（9/24） 3) 地域活動委員会（10/16） 6. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等） 7. 令和 8 年度会員企画提案事業の選定について
11 月度定例（第 192 回） 令和 7 年 11 月 20 日（木） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 職務執行状況報告 2. 月次事業実績等（令和 7 年 10 月分） 3. 事故発生状況速報 4. 監査報告 5. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等） 6. 継続グループ職種の設定と情報公開について
12 月度定例（第 193 回） 令和 7 年 12 月 23 日（火） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 11 月分） 2. 事故発生状況速報 3. 監査報告 4. 常任委員会報告 1) 安全管理委員会（11/20） 2) 就業委員会（11/25） 5. 就業連絡会等報告 1) 家事援助（12/10） 6. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等） 7. 職員給与規程の改定について 8. 余剰金の解消について 9. 令和 7 年度第 1 次収支補正予算について 10. 継続グループ職種の設定と情報公開について 11. ハラスメント防止規程の運用について
1 月度定例（第 194 回） 令和 8 年 1 月 22 日（木） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 7 年 12 月分） 2. 令和 7 年度第三四半期収支報告 3. 事故発生状況速報 4. 地区委員の退任および表彰について 5. 常任委員会報告 1) 広報委員会（1/14） 2) 地域活動委員会（1/16） 6. 地区地域活動報告（前回理事会以降の活動等） 7. 職員就業規則及び給与規程の一部改正について 8. 令和 8 年度役員賠償責任保険の加入について 9. 会員ポイントの付与に関する取扱い要綱等について
2 月度定例（第 195 回） 令和 8 年 2 月 19 日（木） 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等（令和 8 年 1 月分） 2. 令和 8 年度公共受託業務にかかる三者包括契約について 3. 常任委員会報告 1) ハラスメント対策委員会（1/22） 4. 就業連絡会等報告 1) 広報就業連絡会（1/20）

	2) 植木剪定就業連絡会 (1/22) 5. 地区地域活動報告 (前回理事会以降の活動等) 6. 令和 8 年度役員報酬について 7. 令和 8 年度事業計画 (素案) 8. 令和 8 年度収支予算書 (素案) 9. 公益充実資金等の取扱いに関する規則の制定について 10. 会員被服等貸与規程
3 月度定例 (第 196 回) 令和 8 年 3 月 19 日 (木) 午前 10 時 本部事務局 702 会議室	1. 月次事業実績等 (令和 8 年 2 月分) 2. 事故発生状況 3. 地区委員の退任について 4. 常任委員会報告 1) 就業委員会 (2/19) 5. 就業連絡会等報告 1) 環境美化就業連絡会 (2/13) 2) 広報ポスター掲出撤去就業連絡会 (2/20) 3) 包丁研ぎ就業連絡会 (2/27) 4) 除草就業連絡会 (3/6) 6. 地区地域活動報告 (前回理事会以降の活動等) 7. 利益相反取引に係る役員の就業について 8. 規程等の一部改正について 9. 公益充実資金の積立について 10. 公益目的保有財産の処分について 11. 令和 7 年度第二次収支予算の補正について 12. 令和 8 年度事業計画 (案) について 13. 令和 8 年度収支予算 (案) 及び令和 8 年度資金調達並びに設備投資の見込みについて 14. 令和 8 年度事業計画及び収支予算等の報告について 15. 包括的契約の導入に係る関係規程の制定及び一部改正について

(3) 常任委員会 (理事会の下に設置し、各委員会運営規則に基づく任務を遂行)

委員会名	開催月日 出席者数	検討項目等
安全管理	6/ 4 11 名 9/24 11 名 11/20 11 名 2/18 11 名	ア) 規則改正に伴う熱中症対策とルール イ) 安全・適正就業強化月間の取組み ウ) 安全標語 エ) 安全管理委員による就業現場点検 オ) K Y 活動の推進 カ) フレイル健診 キ) 安全就業講習会 ク) 令和 8 年度活動計画
就 業	7/16 7 名 9/12 8 名 11/25 8 名 2/19 8 名	ア) おしごと体験会 イ) 会員企画提案事業 ウ) 就業連絡会 エ) 継続グループ設定 オ) 令和 8 年度活動計画
地域活動	4/16 12 名 7/23 14 名 10/16 13 名 1/16 14 名	ア) 各地区活動情報交換 イ) 地域イベントへの参加協力 ウ) シルバー孫の手事業 エ) 会員ポイント制度

			㊦) 令和8年度活動計画
広 報	5/14 7/15 9/18 1/14	4名 4名 4名 4名	㊦) シルバーすぎなみの編集・発行 イ) PR事業 ㊦) その他の普及啓発活動
ハラスメント 対 策	1/22	6名	㊦) ハラスメント規程の運用 イ) 外部相談窓口の設置 ㊦) カスタマーハラスメント対応

(4) 地区委員会

区内を7地区（高円寺・和田堀・和泉下高・阿佐谷・荻窪・井荻・高井戸）に分け、各地区に在住する会員約30名につき1名の地区委員を選任し活動（※地区委員数：選任／定数）

地区名 (委員／定数)	開催月日・会場	出席者数	検討項目等
全体地区 (73／83名)	令和7年6月25日 杉並公会堂	41名	㊦) 新任地区委員の委嘱 イ) 令和7年度活動方針及び事業計画 ㊦) 令和6年度地区活動報告
高円寺 (5／6名)	4/23 1/14	7名 6名	㊦) 地区イベントの企画・運営 イ) 会場実地踏査
和田堀 (9／9名)	5/22 8/21 10/8 12/23 3/19	7名 6名 4名 6名 4名	㊦) 地区イベントの企画・運営 イ) 会場実地踏査
和泉下高 (10／13名)	5/20 7/10 9/17 1/19	9名 7名 8名 8名	㊦) 地区イベントの企画・運営 イ) 会場実地踏査
阿佐谷 (11／14名)	5/27 8/5 1/19	13名 13名 13名	㊦) 地区イベントの企画・運営 イ) 会場実地踏査
荻窪 (11／11名)	7/2 10/7 1/28 3/18	10名 10名 11名 11名	㊦) 地区イベントの企画・運営 イ) 会場実地踏査
井荻 (17／17名)	4/7 7/9 10/7 1/15	16名 15名 15名 15名	㊦) 地区イベントの企画・運営 イ) 会場実地踏査
高井戸 (10／13名)	4/23 9/30 2/20	9名 8名 9名	㊦) 地区イベントの企画・運営 イ) 会場実地踏査

(5) その他の会議等

会議の名称	開催月日・会場等
安全衛生委員会	4/24, 5/22, 6/26, 7/24, 8/28, 9/25, 10/30, 11/27, 12/25, 1/29, 2/26, 3/26 (月1回定例開催) みなみ阿佐ヶ谷ビル本部 702 会議室
三役会議	9/9, 10/16, 11/11, 12/16, 1/14, 2/13, 3/13 みなみ阿佐ヶ谷ビル本部 6 階事務室
会員企画提案事業選定委員会	第2次選考 10/15 みなみ阿佐ヶ谷ビル本部 702 会議室
東京しごと財団会長会議	7/9, 3/4 東京しごと財団
第3ブロック事務局長会議	毎月1回、第1木曜日を基本 新宿・板橋・豊島・練馬・中野・杉並区の6区持ち回り
第3ブロック代表理事会議	11/14 板橋区立グリーンホール

事業報告の附属明細書

令和7年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人
杉並区シルバー人材センター
会長 本 山 徳 裕